

・ 一人称：オイラ 二人称：あんた

・ 若くしてストリートダンサーとして注目されているトカゲの子供。人間で言えば中学生くらい。

・ イメージ・エフェクト「空の楽器」で音楽を流しては、その場で路上パフォーマンスをやったりしている。

ただし音楽家ではないため、「空の楽器」でオリジナルの曲は流せない。あくまでも普段からよく聞いている・知ってる曲を周囲にも聞こえるようにするだけ。言うなれば、ウォークマンから手持ちの曲を周囲に流す要領。

「オイラ音楽は詳しくないからさー。どっちかっていうと、『音から感じたものを体で表現する。』それがオイラの役目になって！」

・ といえ身体的だけでなく精神的にも子供なので、悪戯好きでよく生意気な態度を取ったりする。大人からはよく「クソガキ」呼ばわりされている。

☆彼の血筋について

実は由緒ある忍の家系の末裔。ナガトは表で存在を秘匿された忍の里の出身であり、彼自身も忍の血を継ぐ者である。

忍の血が絶えないよう、里の存在は表では秘匿されている。村の掟により、里の事を知った部外者は人知れず消すよう厳命されている。

このためナガトは自分の出自や、忍術を教えることを、余程信頼できると判断した者以外には言っていない。もちろん公言もしていない。

マズなったら姿を消したりするくらいの手前さ、さりげなく普段の生活でも使う術があるが、攻撃に使う等明らかに常人がやらないような忍術を発動する場合、

「ワーディング」と併用して一般人になるべく目に付かないようにしている。

☆幼少期の概要

人前では明るく振る舞うナガトだが、彼の幼少期～小学生時代は明るいものでは無かった。

生まれつきレナゲイドに覚醒していたナガトは、周囲で不可解な現象が起こることが多かった。そのため同級生どころか、祖父を除く家族からも気味悪がられてしまっていた。

彼の心に唯一寄り添えていたのは、ナガトの祖父だけだった。

ナガトは幼少期から祖父に修行を積み、若くして、音を駆使した忍術「音遁術（おんとんじゅつ）」の使い手となる。

キャラクター名 _____ プレイヤー名 _____
藤林 ナガト _____

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

[illegible][illegible][illegible]